

## 津波堆積層ボーリング調査（産業技術総合研究所）の実施について

独立行政法人産業技術総合研究所（茨城県つくば市）は、南海トラフ巨大地震の津波被害が想定される牧之原市沿岸部において、津波堆積層ボーリング調査研究を開始します。

同研究所は、2005 年から静岡、三重県内で 300 箇所以上を調査し、過去における津波堆積物の諸記録を捉えています。

### 1 調査概要

- |            |   |
|------------|---|
| (1) 調査目的   | 過去の津波発生時の海岸線の位置を復元し、発見された津波堆積物から津波の遡上範囲を説明できる断層モデルを探索する。                                  |
| (2) 調査方法   | ボーリング、簡易ボーリングにより地表下 3 ~ 8 m まで掘削、土質試料サンプルを採取し、堆積物年代測定等を行う。<br>地形レーダー調査により、海岸線砂堤列形状の復元を行う。 |
| (3) 調査箇所   | 榛原・相良低地沿岸部 20 箇所程度（細江・静波・相良・福岡・波津地内）相良幼稚園園庭・細江小学校グラウンド など                                 |
| (4) 現地調査期間 | 平成 25 年 8 月上旬 ~ 12 月下旬  |
| (5) 調査成果発表 | 平成 26 年 8 月以降   |
| (6) 調査担当   | 産業技術総合研究所 活断層・地震研究センター<br>主任研究員 藤原 治 氏  |

### 2 期待される成果

榛原・相良沿岸部低地は、現市街地が立地する砂堤列と砂堤列間低地が特徴的な地形を示している。各時代の海岸線が復元され、どの時代にどこまで津波が及んでいたか、今回調査で詳細な解明がなされる。

遺跡調査事例なども踏まえ、当地域の古代地形と集落環境の復元を行い、将来的な防災計画に資する基礎データとしたい。調査結果は来年夏以降報告される見通し。

### 3 報道機関等への調査現場説明会

- |        |   |
|--------|---|
| (1) 日時 | 平成 25 年 8 月 6 日（火） 午前 10 時 ~ 午前 11 時          |
| (2) 内容 | 現地ボーリング調査風景及び採取した試料撮影。<br>研究所調査担当による調査事業概要解説。 |
| (3) 場所 | 市立相良幼稚園園庭（相良 249 - 2）                         |

### 4 添付図面

榛原低地の地形分類図と復元した海岸線（牧之原市教育委員会 2013『白百合遺跡調査報告書』より転載）。



# 榛原低地

推定した海岸線

..... 寛保三年 (1743)

----- 文政七年 (1824)

———— 明治二十二年 (1889)

